



# 腹腔鏡下胆のう摘出術を受けられる( )さま

主治医は、 \_\_\_\_\_ です  
 病棟師長は、 \_\_\_\_\_ です  
 担当看護師は、 \_\_\_\_\_ です

月・日・曜日	入院日から手術前日まで	手術日( / )		手術後1日目 ( / )	手術後2~3日目 ( / ~ )	手術後4~7日目 ( / ~ )	手術後8日目~退院日 ( / ~ )
	( / ) ~ ( / )	手術前	手術後				
目標	身体的・精神的に手術への準備が整う		痛みがコントロールでき、合併症無く過ごすことが出来る	呼吸や血圧が安定し、痛みなく離床ができる		感染症を起すことなく経過し、社会復帰に向けて準備が出来る	
安静度	病棟内自由です 	深部静脈血栓症予防の弾性ストッキングをはきます	ベッド上安静です  寝返りはできます(血栓予防のために)足を動かしましょう	・腹圧をかけずに起きる練習から始めます ・最初の歩行は看護師が立ち会います  ・調子が良ければ、がんばって歩きましょう ・歩行できれば、弾性ストッキングは脱ぎます	病棟内自由です		
食事	前日の夕食まで入院時の食事です ※病院食以外は食べないで下さい	( )時まで水分がとれます ・食事をとることはできませんが、うがいはできます 		医師の診察後、水分をとれるようになります	朝から三分粥です 以後、1日ごとに食事の量が増えていきます		
清潔	当日の朝まで、シャワーは自由にできます	・シャワーしてください ・その後、手術衣に着替えます		体を拭きます	体を拭きます 下半身のシャワーはできます	ガーゼがなくなればシールを貼りますので、シャワーができます	
検査	鼻にばい菌がないか、綿棒で検査します 股の付け根から、医師が採血します 手術の3日前から血圧を一日一回測ります その他、医師の指示により検査があります		・手術後、15~30分ごとに血圧を測ります ・その後は1~2時間ごとに測ります ・酸素マスク・心電図モニターがつきます	・検温は1日4回行います ・酸素マスク・心電図モニターをはずします ・採血・レントゲン検査があります	術後3日目と7日目に採血があります	検温は1日1回行います	
内服	・前日の夕食後に胃薬を飲みます ・前日の夜9時に下剤を2錠、希望時安定剤を1錠飲みます	朝6時に胃薬を飲みます		術前に飲んでいた薬は、医師の指示で再開します			
注射		朝8時かそれ以降に点滴を始めます	24時間続けて点滴をします	医師の指示があるまで点滴を行います			
処置	手術前日にへそをきれいにする処置をします	・鼻から胃に管を入れます ・必要であれば、(手術する部位の)右太ももの除毛をします	手術中に尿を出すための管が入ります  手術中に創部にチューブが入ります	尿管を抜きます	術後4日目に背中 の痛み止めの管を抜 きます 創部に入っている チューブを抜きます	術後7日目頃に糸を 抜きます (抜糸が必要な場合) 	
説明・指導	・看護師が手術前後の経過について説明します。うがいなどをさせていただきます ・主治医および麻酔医が手術について説明します ・眠れない時は、看護師にお知らせください  《必要物品》 ・タオル2~3枚・ティッシュペーパー1箱 ・水のみまたはストローとコップ		家族の方に、手術室で手術結果を説明します  痛みがあるときは痛み止めを使いますので、看護師にお知らせください		・看護師が退院指導をします  ・証明書・診断書の必要な方は1階の医事課へ書類を提出してください ・希望時、栄養士より栄養指導があります		

\* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、遠慮なく主治医・担当看護師におたずねください。

総合病院 三原赤十字病院 外科 2012年12月 修正  
 2013年 6月 修正  
 2014年 4月 修正  
 2017年 10月 修正